

平成30年度

島根大学大学院医学系研究科

看護学専攻（博士前期課程）入学者選抜

（第3次募集）

試験問題

小論文

（60分間）

注意

- 1 問題紙は指示があるまで開いてはいけません。
- 2 問題紙は表紙を含めて4枚です。
- 3 志望するコースの問題について解答してください。
- 4 問題紙は持ち帰ってください。

問題 表1は感染管理担当看護師が専従で配属している5つの医療施設の病棟別の多剤耐性菌検出患者の病室に出入りする医療従事者の接触予防策の遵守率です。なおp値は病棟間の多重比較です。表2は、職種別の接触予防策遵守率で、p値は職種間の多重比較です。  
以下の問1、問2に答えなさい。

問1 表1および表2から読み取れる医療施設における接触予防策遵守の特徴を述べなさい。

問2 問1を踏まえ、あなたの考える医療機関における感染予防対策をあげ、感染管理担当看護師の役割に対するあなたの考えを述べなさい。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

- \*1: 接触予防策遵守率 =  $n$  接触予防策場面数 /  $N$  接触予防策必要場面数  $\times 100$
- \*2: 接触予防策必要場面数
- \*3: 接触予防策実施場面数
- \*4: 救命救急センター Emergency Room
- \*5: 集中治療室 Intensive Care Unit
- \*6: 新生児集中治療室 Neonatal Intensive Care Unit
- \*7: ER, ICU, NICU, 外科, 内科, 小児科間で比較

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

- $N$ : 接触予防策必要場面数
- $n$ : 接触予防策実施場面数
- \*1: 看護師, 医師, その他の医療従事者間で比較

(橋本丈代・操華子:多剤耐性菌対策ガイドラインで推奨される接触予防策と患者周辺環境対策遵守の実態,日本環境感染学会誌,28(6),2013より抜粋)

問題 保健師の保健活動について、以下の問 1、問 2 に答えなさい。

問 1 平成 25 年に厚生労働省健康局から出された「地域における保健師の保健活動に関する指針」では保健師の地区担当制を推進している。保健師が地区担当をする意義について述べなさい。

問 2 保健師が担当地区において保健活動を展開するうえで留意すべき点を述べなさい。

高齢者看護学コース

問1. 加齢による身体的基本的变化として、①予備力の低下、②適応力の低下、③防衛反応の低下、④回復力の低下が挙げられる。①～④について、それぞれ簡潔に説明しなさい。

問2. 高齢者の疾病の特徴を5つ挙げ、それぞれについて簡潔に説明しなさい。